

お知らせ:次回発信日は7月18日週報(予定)

Jミルクが2024年5月31日に公表した「需給見通し(※2024年3月迄実績)」の予測値と実績(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

・5月の生乳需給実績について、飲用等向(日均量)はこれまでの傾向と同様に前年を下回り前年同期比▲1.4%となった。一方、生乳供給量(日均量)は4カ月連続で前年を上回り+1.0%となった。このため、乳製品向(日均量)は+3.7%と4カ月連続で前年を上回った。指定団体受託乳量(速報)では、北海道(ホクレン)が5月下旬(最新)に▲0.4%(日均量)と1月中旬以降、約4カ月ぶりに前年を下回り、その後6月下旬まで前年割れが続いている。前年超えが続いていた都府県も、6月中旬は▲0.4%と約2か月ぶりに前年を下回った。

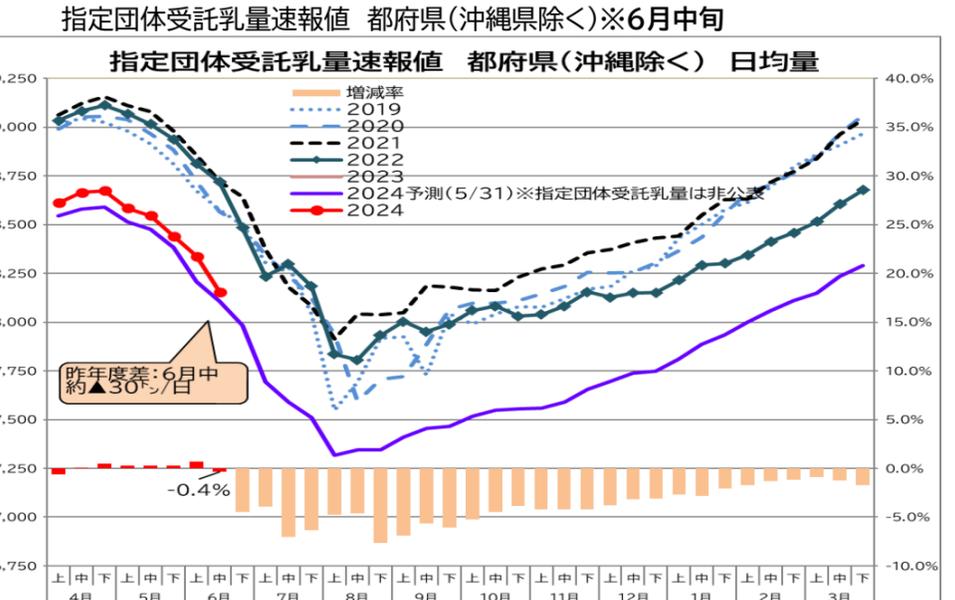
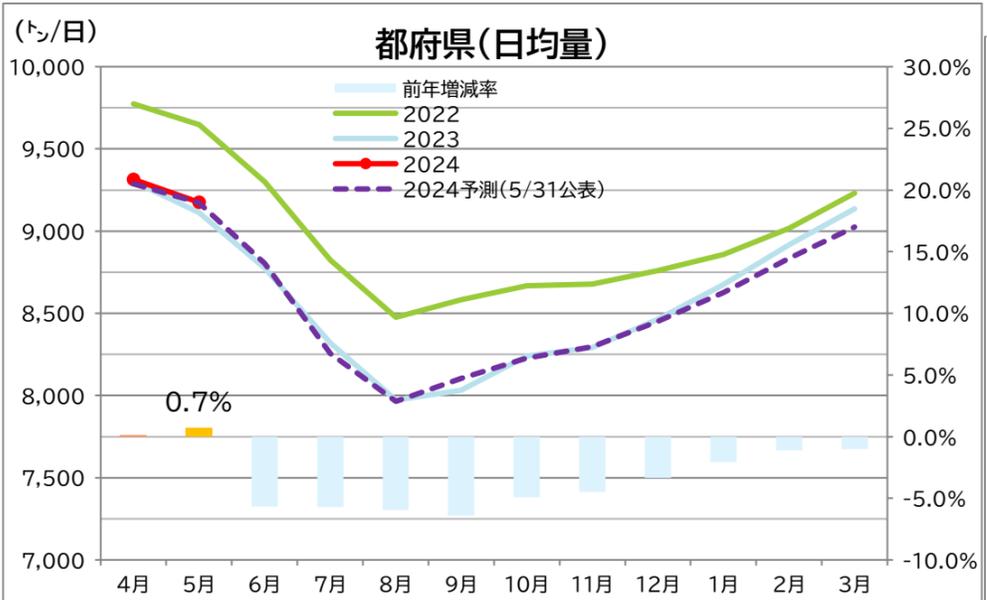
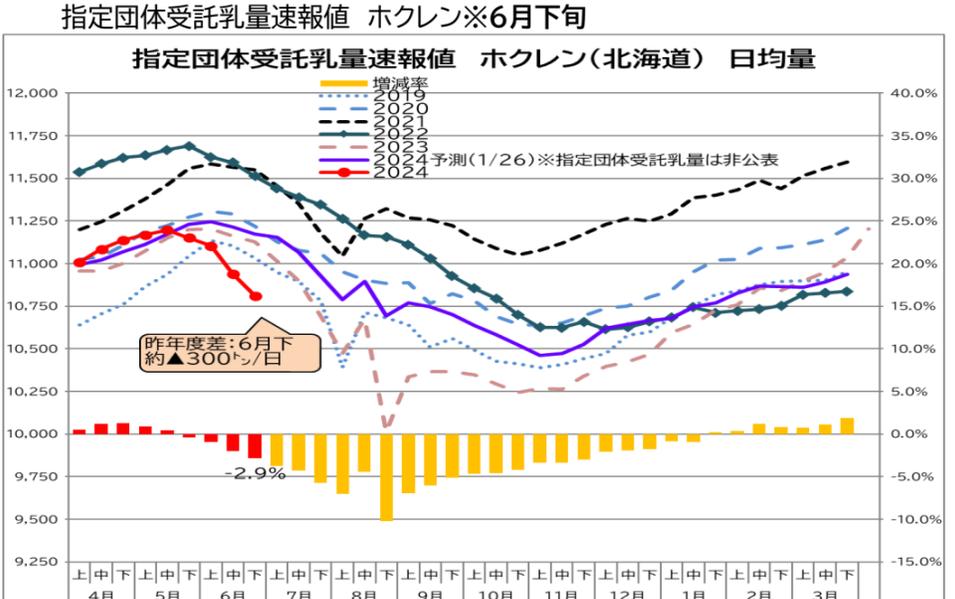
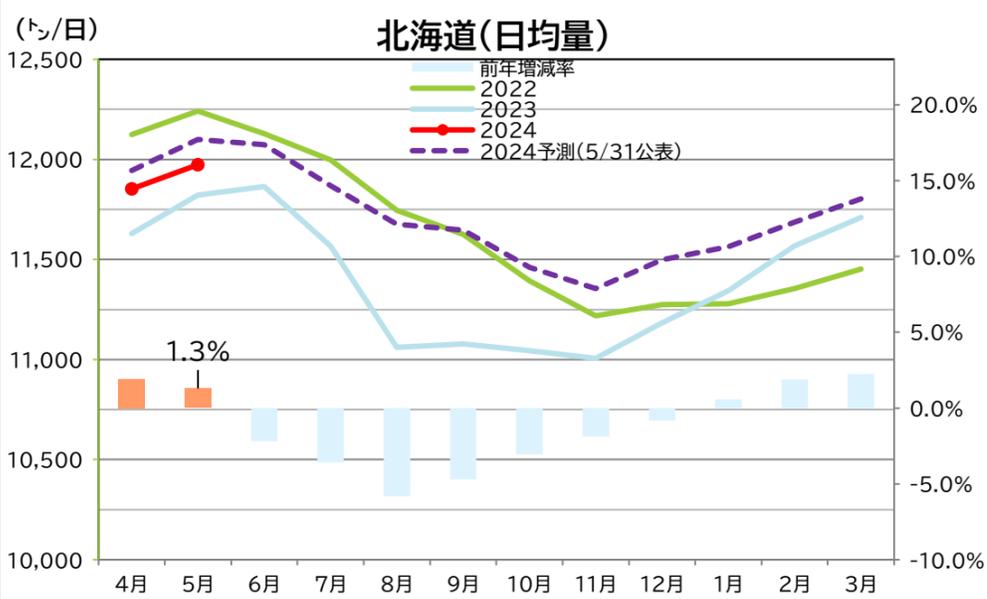
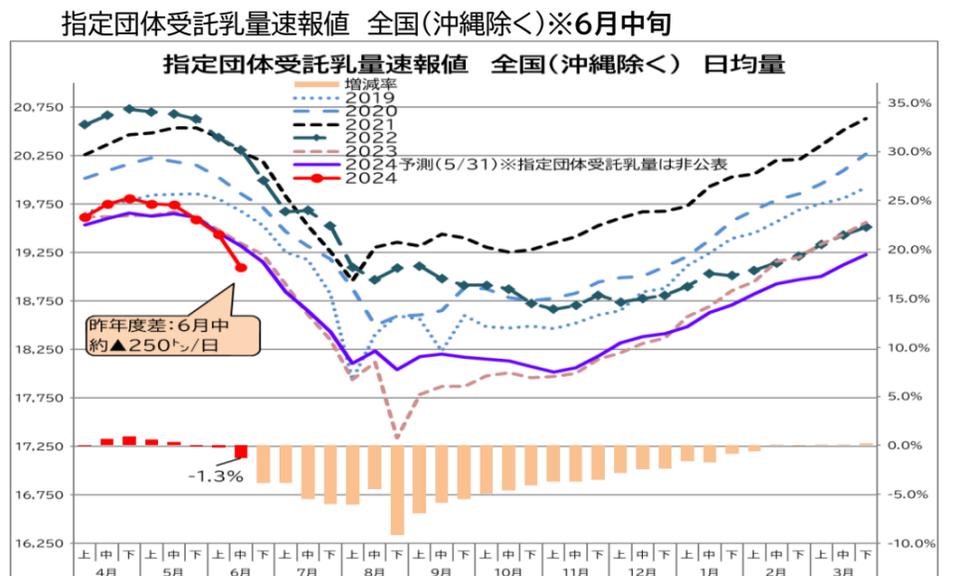
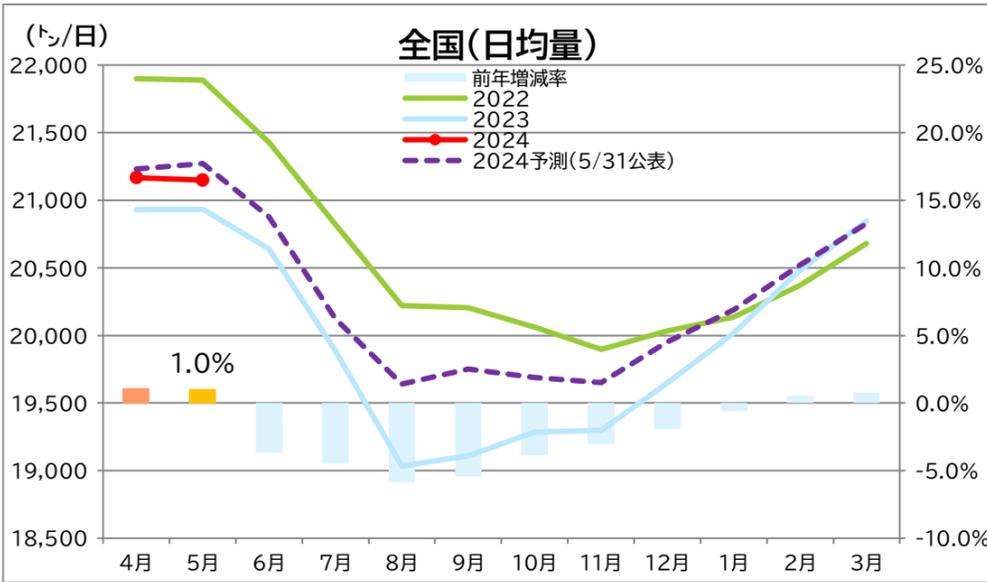
・脱脂粉乳の需給について、5月の生産量は前年比+7.2%と6カ月連続で前年を上回った。推定出回り量は、在庫低減対策の効果もあって+8.3%と約半年ぶりに前年を上回ったものの、在庫量は前月から3.5千ト程度増加し54.5千トとなった。一方、バターは5月の生産量が7.1千ト(+5.4%)、推定出回り量が6.5千ト(▲0.4%)となった。バターの生産量が前年を上回るのは5カ月連続。国家貿易による輸入売渡分(約1.3千ト)も考慮すると、在庫量は前月から2.0千ト程度増加し、27.9千ト(▲8.0%)となった。在庫量は26カ月連続で前年を下回っている。12月の取引乳価引き上げに伴うバターなどの製品価格改定は2月中旬ごろをピークに落ち着いたものの、販売個数は伸び悩んでいる。

・牛乳類の販売動向について、梅雨入りの遅れや気温の上昇などを背景に6月は回復基調で推移した。ただし、牛乳乳製品以外の食品のうち、主食である米の価格が上昇傾向で推移しており、家計調査によると米の支出額が5月は9.7%上昇した。こうした状況が牛乳乳製品の消費動向にどのような影響を与えるのか、注視する必要がある。※需給短信の販売データは、(株)インテージの「SRI+週データ」を活用しておりますが2024年6月のみ、販売データの対象となる業態について、ホームセンターのうちディスカウント型店舗が対象外となっております。なお、販売本数の前年比は、過去のデータも同じ業態にそろえて比較しております。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)5月の生乳生産量は、全国655.6千ト(前年同月比101.0%)、北海道371.2千ト(同101.3%)、都府県284.4千ト(同100.6%)。

(2)Jミルク予測値(全国659.4千ト、北海道375.1千ト、都府県284.3千ト)との比較は北海道が下振れした一方、都府県が上振れとなった。

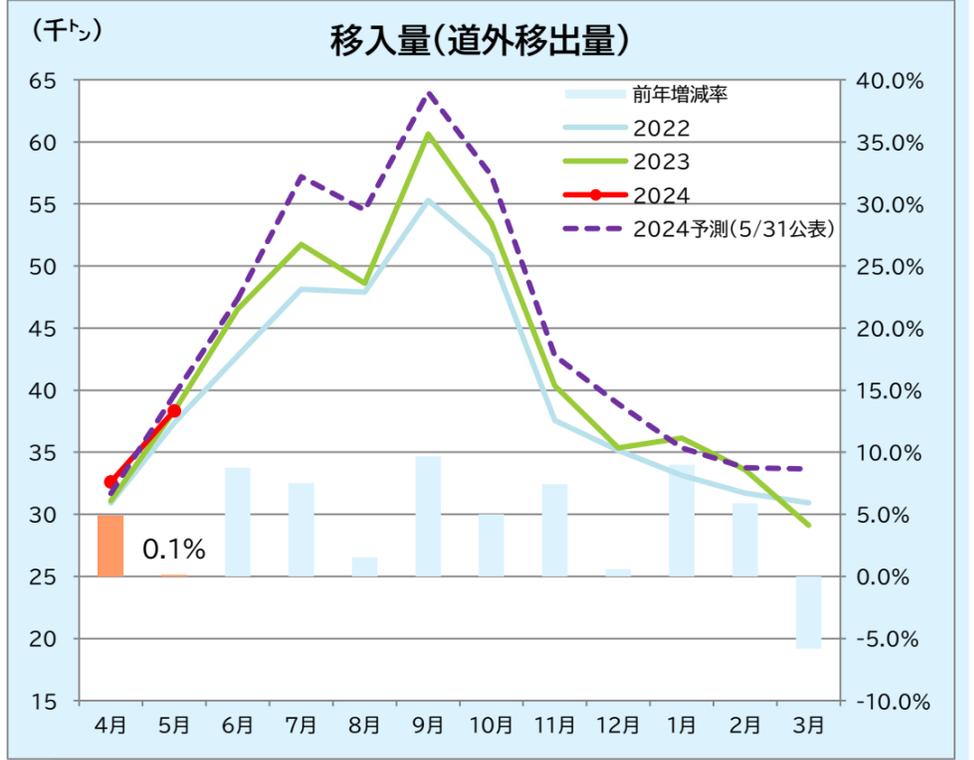
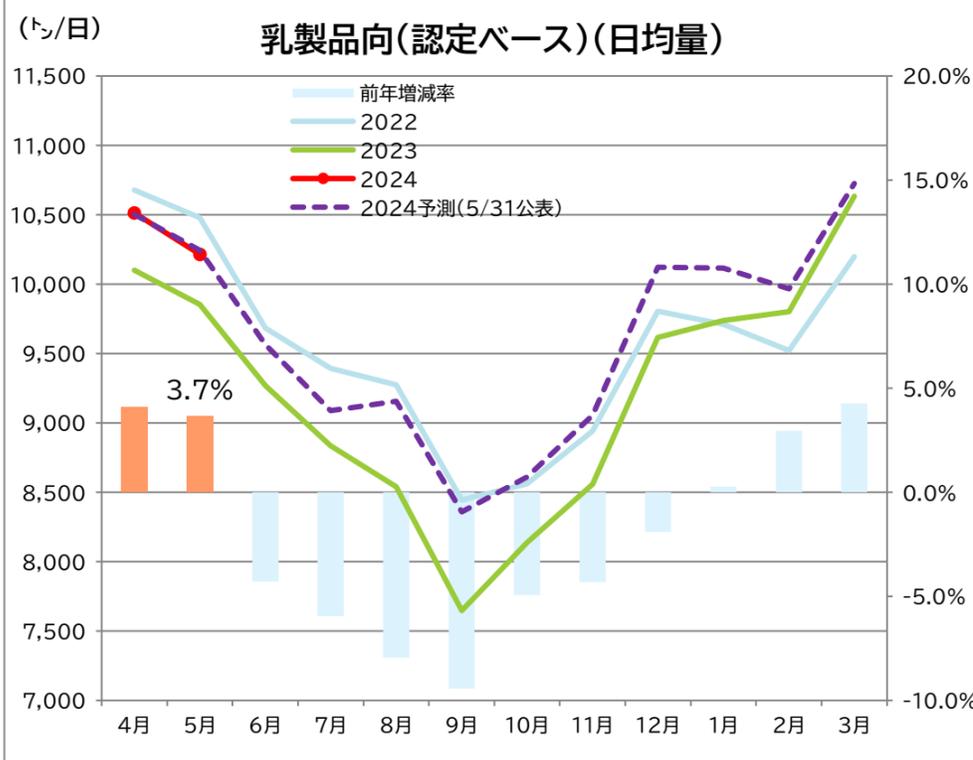
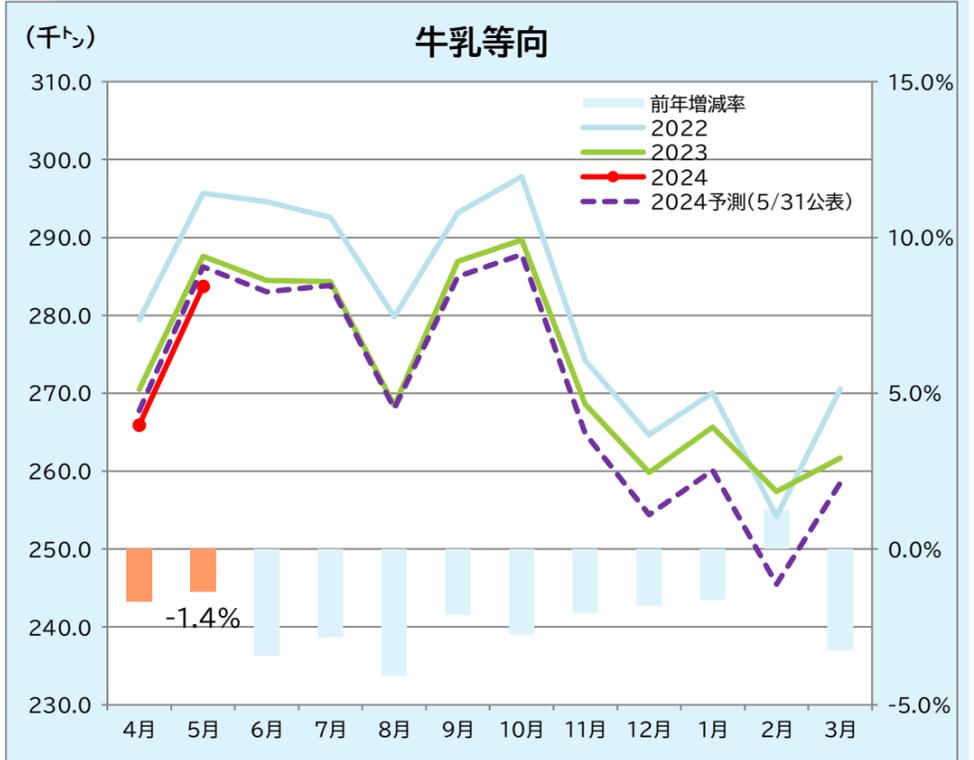
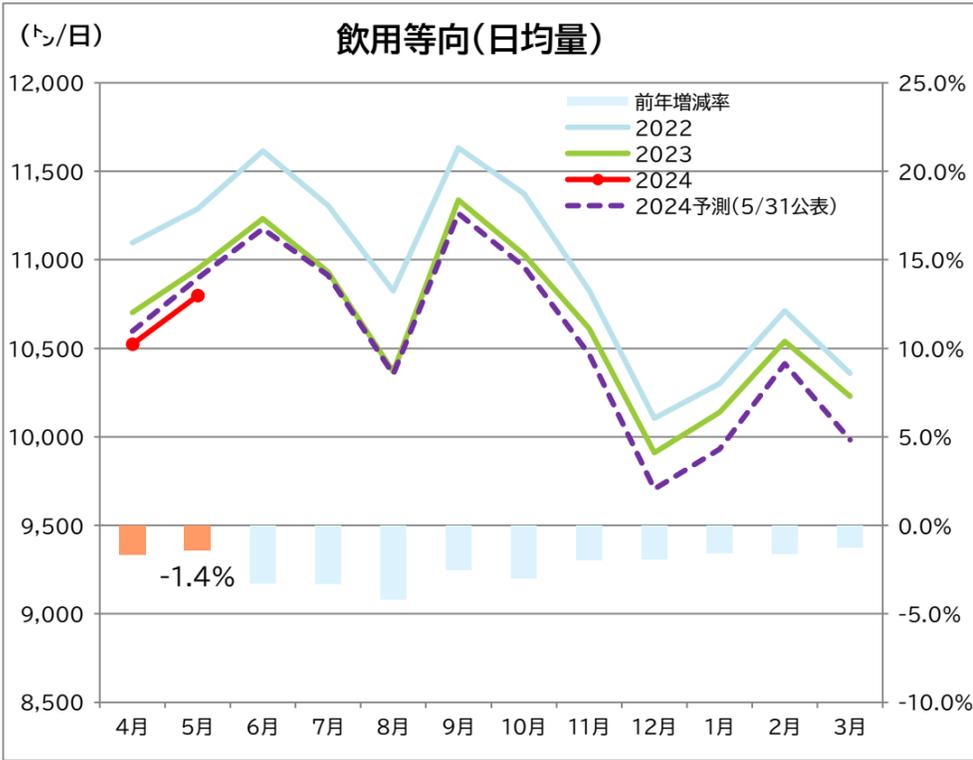
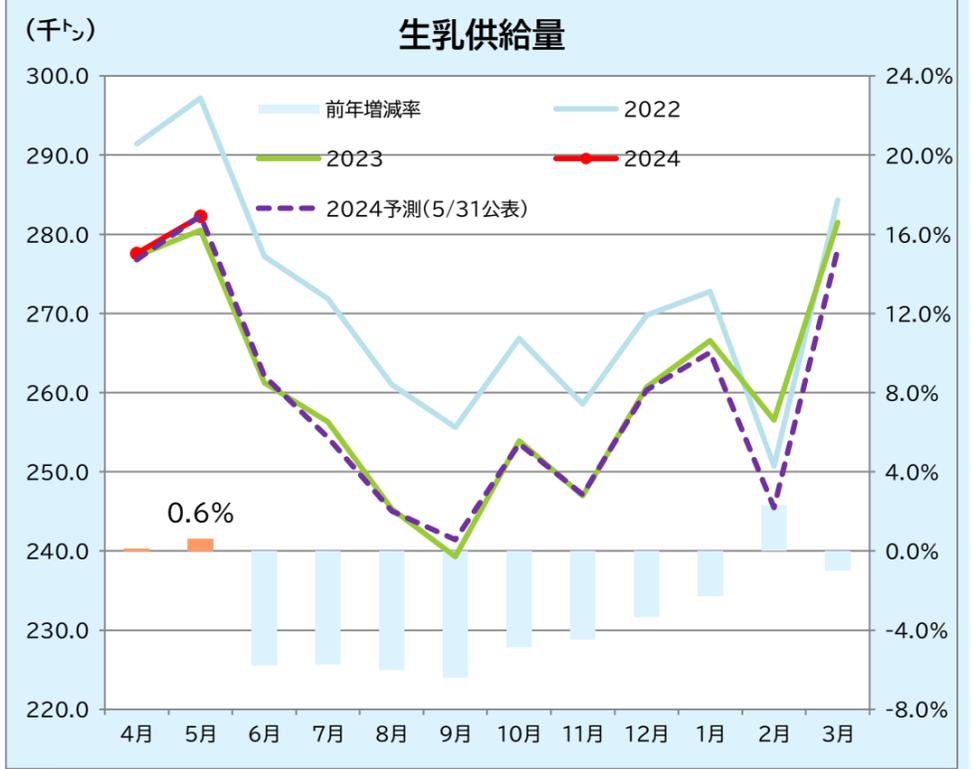
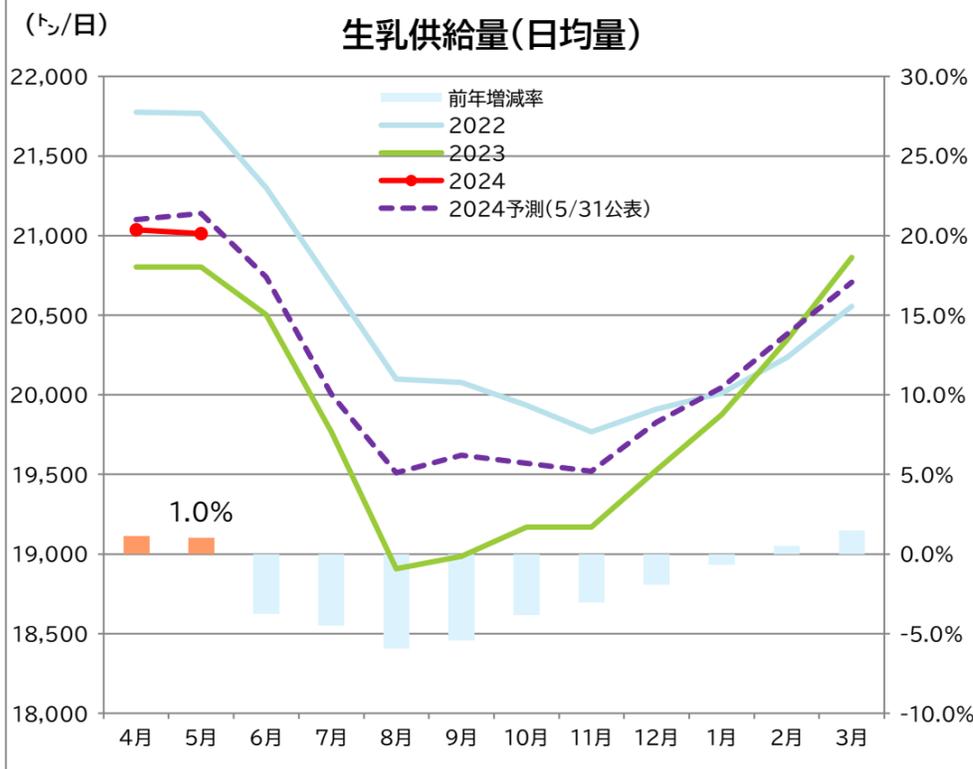


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)5月の生乳供給量は651.4千ト(前年同月比101.0%)、飲用等向334.7千ト(同98.6%)、乳製品向(認定ベース)316.7千ト(同103.7%)。
 (2)飲用等向は前年を下回った一方、生乳供給量は前年を上回り、乳製品向も前年を上回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:655.3千ト)、飲用等向(予測値:337.8千ト)は下振れし、乳製品向(予測値:317.5千ト)も若干下振れした。

【都府県の生乳需給】

(1)5月は、生乳供給量282.3千ト(前年同月比100.6%)、牛乳等向283.7千ト(同98.6%)。
 (2)北海道からの移入量については38.3千ト(同100.1%)と前年を上回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:282.3千ト)、牛乳等向(予測値:286.2千ト)はいずれもほぼ同水準となったことから、北海道からの移入量(予測値:31.7千ト)もほぼ同水準となった。

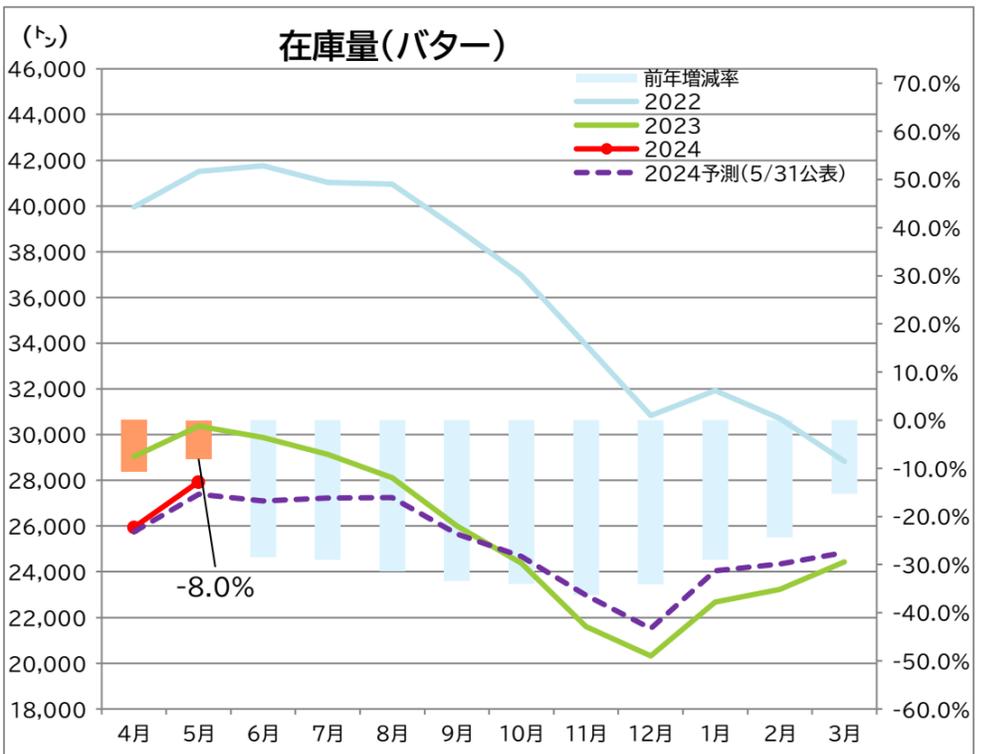
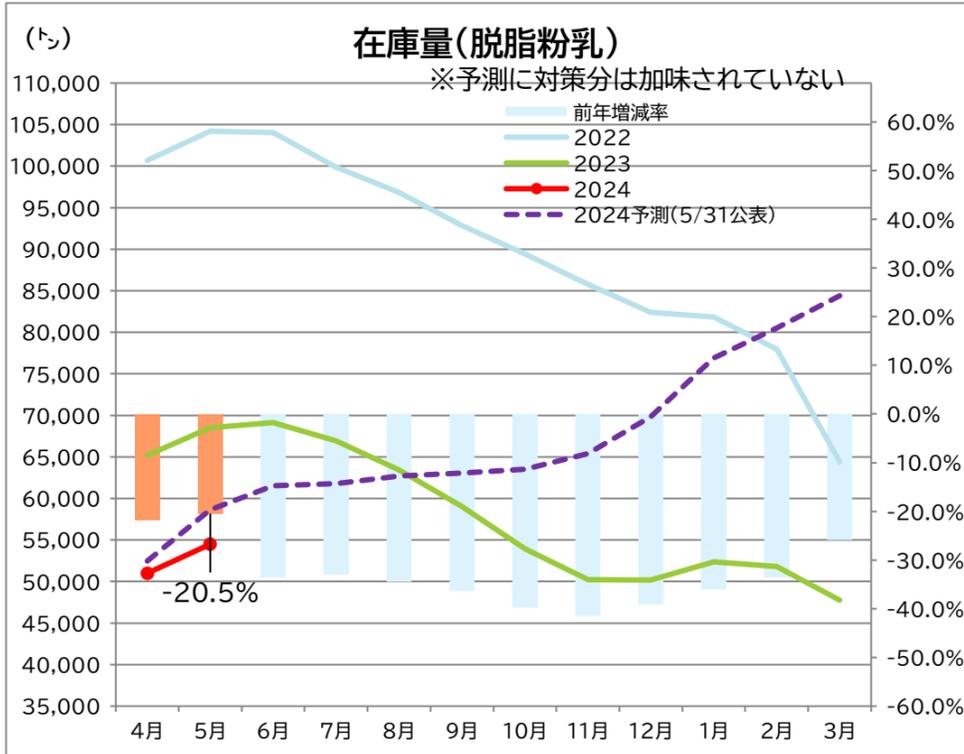
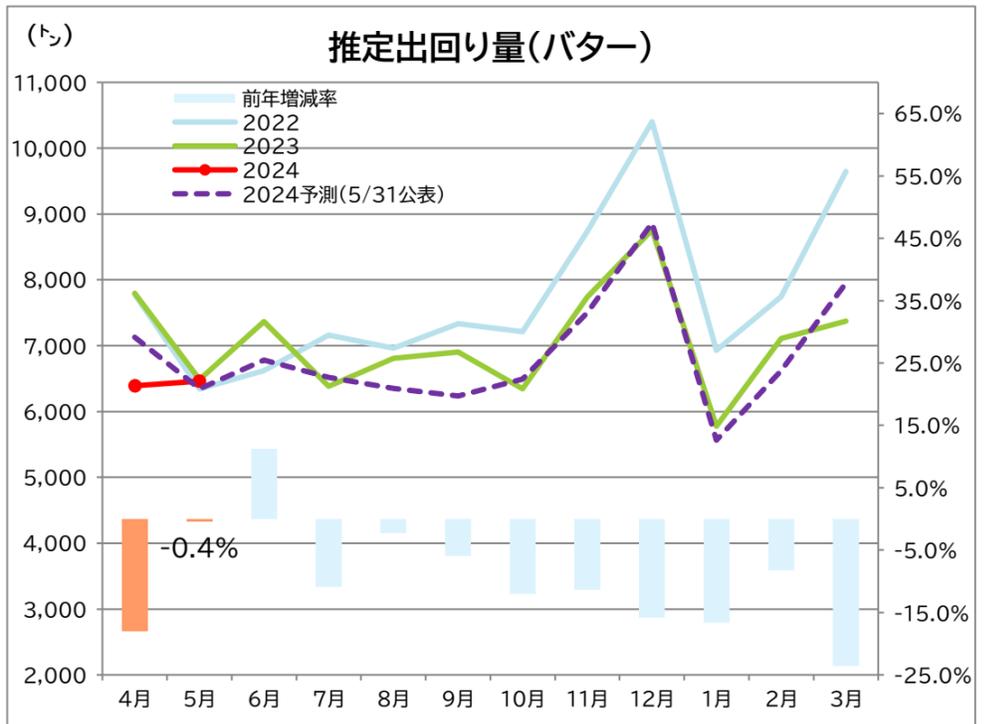
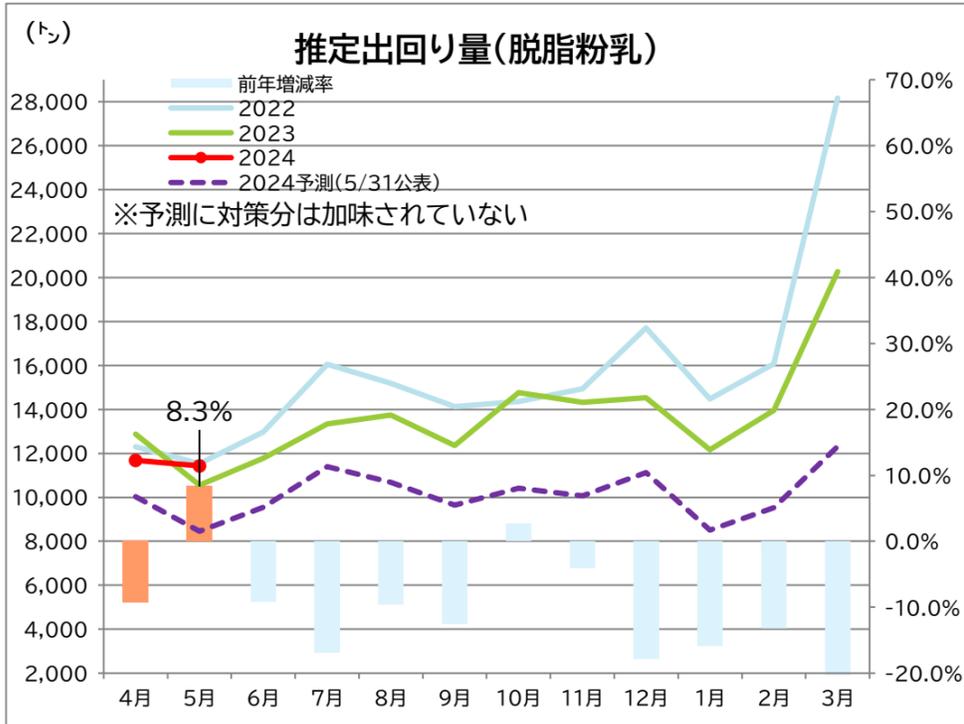
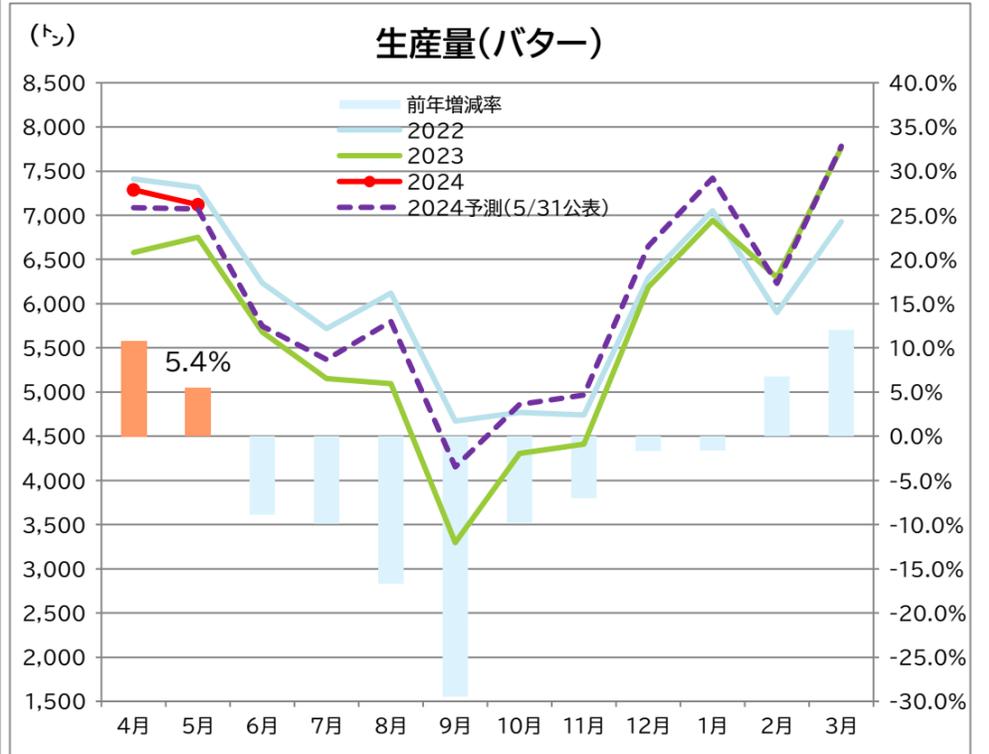
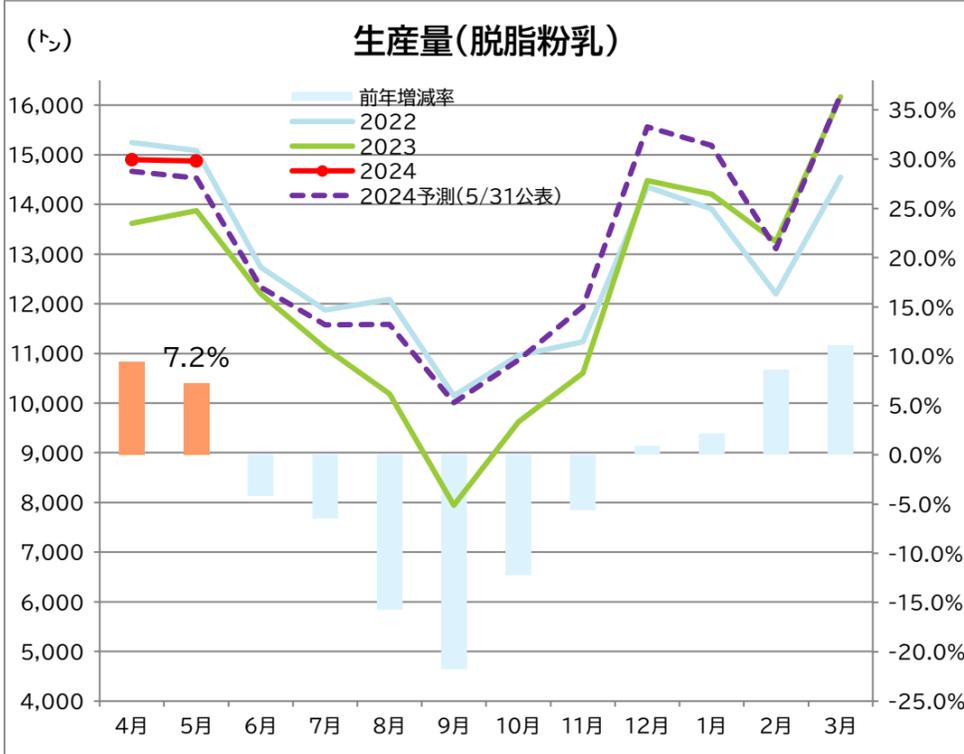


【脱脂粉乳・バターの需給】

(1)脱脂粉乳について、5月の生産量は14.9千ト(前年同月比107.2%)、推定出回り量は11.4千ト(同108.3%)となった。出回り量が生産量を下回ったため、在庫量は前月から3.5千ト程度増加し、54.5千ト(同79.5%)となった。在庫量は生産抑制の効果による脱バ仕向量の減少や在庫対策削減効果により、2023年9月には2018年11月以来、約5年振りに5万ト台となり、2024年3月には約8年振りに4万ト台となっていた。 ※なお、推定出回り量の実績には在庫対策による国産脱脂粉乳への置換分を含む。

(2)バターについて、5月の生産量は7.1千ト(同105.4%)、推定出回り量は6.5千ト(同99.6%)となった。バターの生産量が前年同期比を上回るのは4カ月連続。国家貿易による輸入売渡分(約1.3千ト)も考慮すると、在庫量は前月から2.0千ト程度増加し、27.9千ト(同92.0%)となった。在庫量は25カ月連続で前年を下回っている。

➡脱脂粉乳とバターの需要のアンバランスが表面化するなか、飲用需要が低調に推移している。脱脂粉乳は、積み増しを避けるべく需要拡大や理解醸成活動による消費の底上げを図るとともに、全国協調の在庫削減対策による国産脱脂粉乳の国内需要拡大や輸出など、引き続き最大限取り進める必要がある。バターは、消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)6月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比101.0%、成分調整牛乳:同88.2%、加工乳:同116.4%、乳飲料:同106.5%。牛乳類全体:同101.1%

【参考】2022年6月比…牛乳:95.8%、成分調整牛乳:74.7%、加工乳:102.0%、乳飲料:100.1%(牛乳類トータル:94.9%)

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(7/1週)の販売個数は、牛乳:前年同期比98.3%、成分調整牛乳:同83.3%、加工乳:同113.7%、乳飲料:同101.1%。牛乳類トータルでは同98.0%

出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

※2024年6月のみ、販売データの対象となる業態についてホームセンターのうちディスカウント型店舗が対象外となっております。

販売本数は、過去のデータも同じ業態にそろえて比較しております。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

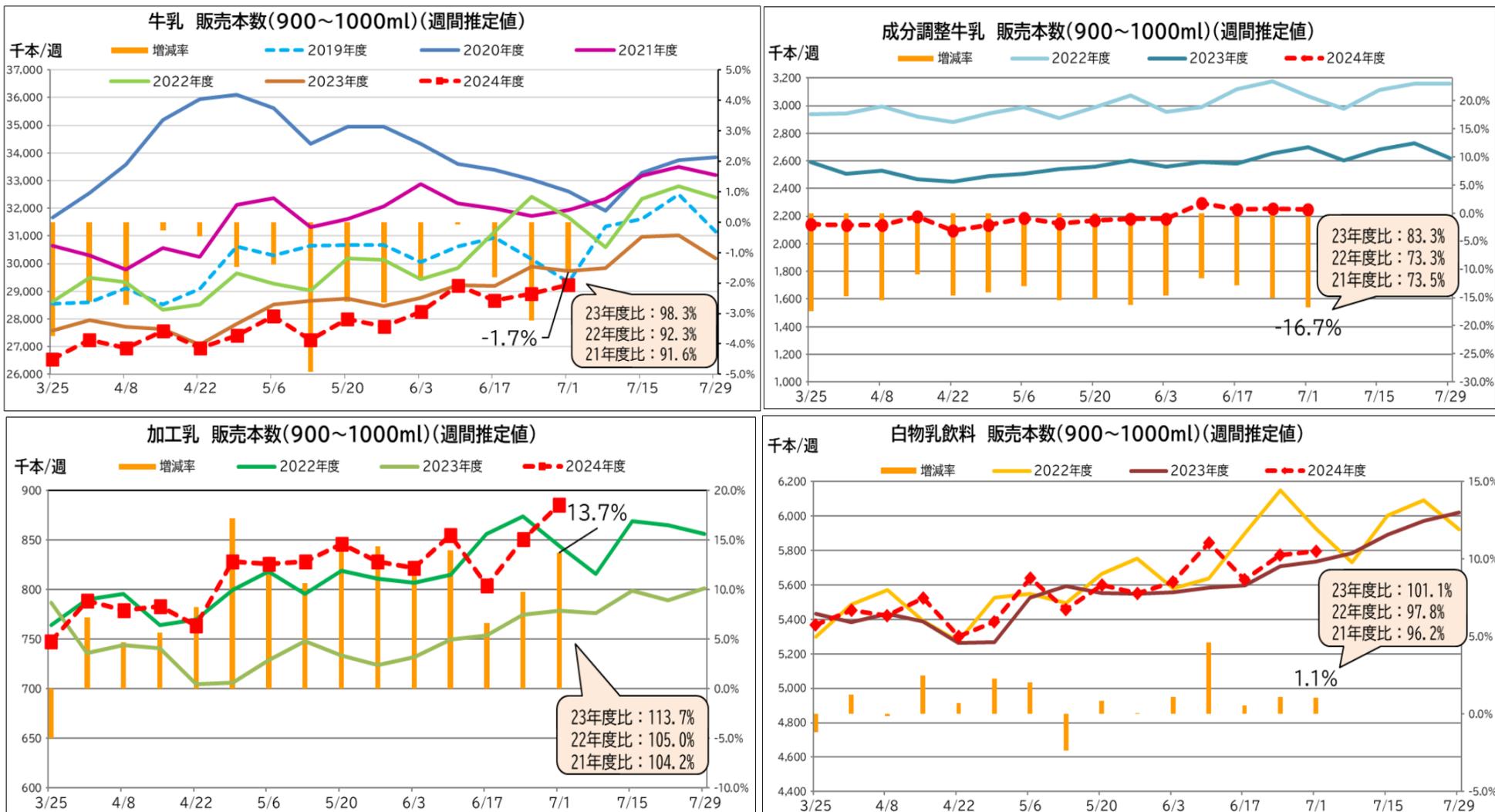
単位:千個、円

品目	区分	2024/1-	2024/2-	2024/3-	2024/4-	2024/5-	2024/6-	2024/6- 2022/10価格差	2024/6- 2023/3価格差	2024/6- 2023/7価格差
		トータル	販売個数	145,857	140,276	152,636	152,983	158,129	162,342	32.5
販売個数前年比	95.7	99.8	97.4	97.6	96.4	101.1				
販売単価	217.0	216.6	216.2	215.7	215.8	215.6				
牛乳	販売個数	111,001	106,932	116,610	117,020	120,893	124,376	34.4	18.1	17.3
	販売個数前年比	96.6	100.7	98.1	97.9	96.4	101.0			
販売単価	226.5	225.9	225.4	224.7	224.9	224.6				
成分調整牛乳	販売個数	9,065	8,793	9,410	9,241	9,425	9,694	34.2	18.5	15.0
	販売個数前年比	82.7	87.0	85.0	85.8	84.3	88.2			
販売単価	208.7	208.2	207.8	207.9	208.0	207.7				
加工乳	販売個数	3,178	2,992	3,231	3,363	3,624	3,616	28.2	18.5	7.5
	販売個数前年比	103.8	103.2	99.5	105.1	112.3	116.4			
販売単価	218.2	219.8	218.9	218.0	216.6	218.3				
乳飲料	販売個数	22,613	21,559	23,385	23,360	24,188	24,655	23.6	13.0	9.3
	販売個数前年比	96.7	101.1	99.1	100.7	99.6	105.5			
販売単価	173.5	173.7	173.7	173.5	173.3	173.1				

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	5.13-	5.20-	5.27-	6.3-	6.10-	6.17-	6.24-	7.1-	24.7.1- 22.10.24 価格差	24.7.1- 23.3.20 価格差	24.7.1- 23.7.24 価格差
		トータル	販売個数	35,692	36,608	36,283	36,880	38,202	37,360	37,801	38,178	32.6
販売個数前年比	95.1	97.4	97.1	98.9	101.0	98.8	97.7	98.0				
販売単価	215.6	215.8	215.5	215.6	215.7	215.8	215.9	215.8				
牛乳	販売個数	27,257	27,994	27,722	28,260	29,207	28,676	28,926	29,247	34.5	18.2	17.0
	販売個数前年比	95.1	97.4	97.4	98.9	100.7	98.9	97.5	98.3			
販売単価	224.7	224.9	224.6	224.5	224.7	224.7	225.0	224.8				
成分調整牛乳	販売個数	2,148	2,169	2,180	2,181	2,294	2,249	2,252	2,247	33.9	19.0	14.4
	販売個数前年比	84.6	84.8	83.7	85.6	88.7	87.4	85.1	83.3			
販売単価	207.8	208.1	207.5	208.1	207.7	207.8	208.1	207.6				
加工乳	販売個数	828	846	828	822	855	804	851	886	24.7	14.4	3.8
	販売個数前年比	110.7	115.3	114.4	114.6	117.0	109.1	112.6	113.7			
販売単価	215.4	216.7	215.4	219.1	217.2	220.1	219.5	215.6				
乳飲料	販売個数	5,459	5,599	5,553	5,618	5,845	5,630	5,772	5,798	23.6	13.8	9.1
	販売個数前年比	97.6	100.8	100.0	102.9	106.6	102.5	102.9	101.1			
販売単価	173.4	173.4	173.3	173.1	173.4	173.1	172.8	173.3				

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

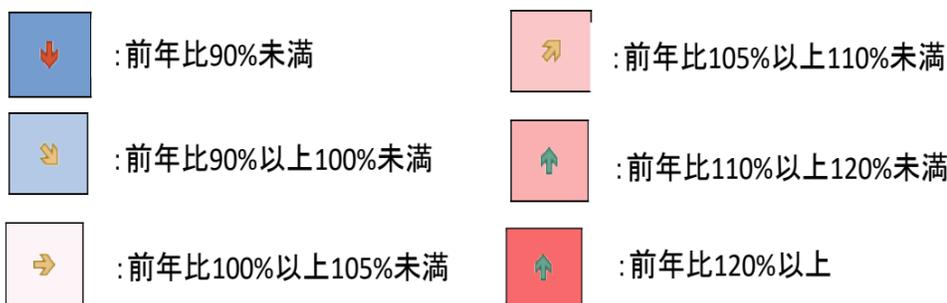
(1)直近の週次動向(表⑤参照)

直近(7/1週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。はっ酵乳全体としては、前年を下回る推移となっている。(3品目合計前年同期比:90%以上)。

(2)販売個数について、前週(6/24週)と比較して3カテゴリーいずれも減少した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

品目	5.13-	5.20-	5.27-	6.3-	6.10-	6.17-	6.24-	7.1-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	→	→	→	→	→	↘	→	→



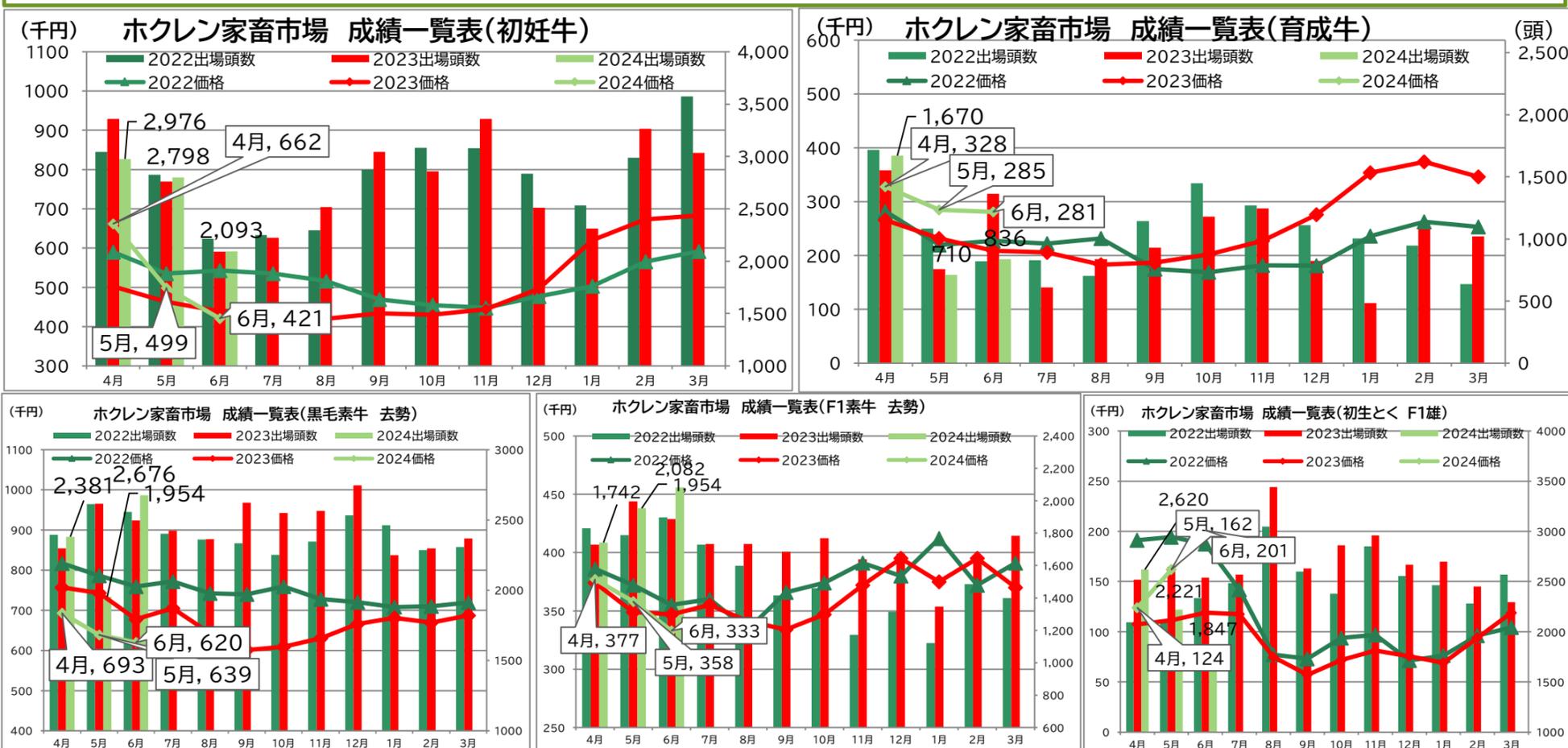
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

(1)5月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は421千円(前年同期比95.9%)、育成牛価格は281千円(同134.4%)、和牛素牛(去勢)価格620千円(同91.4%)、F1素牛(去勢)価格は333千円(同96.0%)。初妊牛は2カ月連続で40万円台となり、育成牛についても2カ月連続で20万円台となった。F1初生(雄)は約2年ぶりに20万円を上回った。ホル初生(雄)価格も126千円(同197.7%)と、約2年振りに100千円を上回った(グラフ無し)。

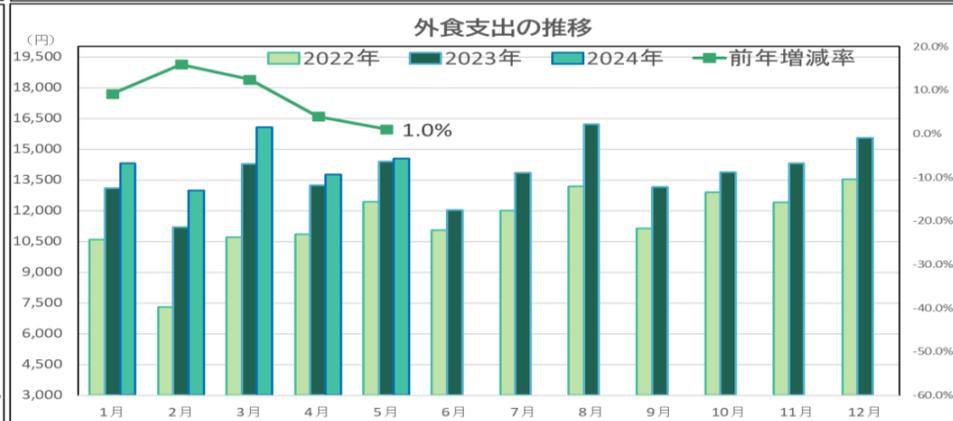
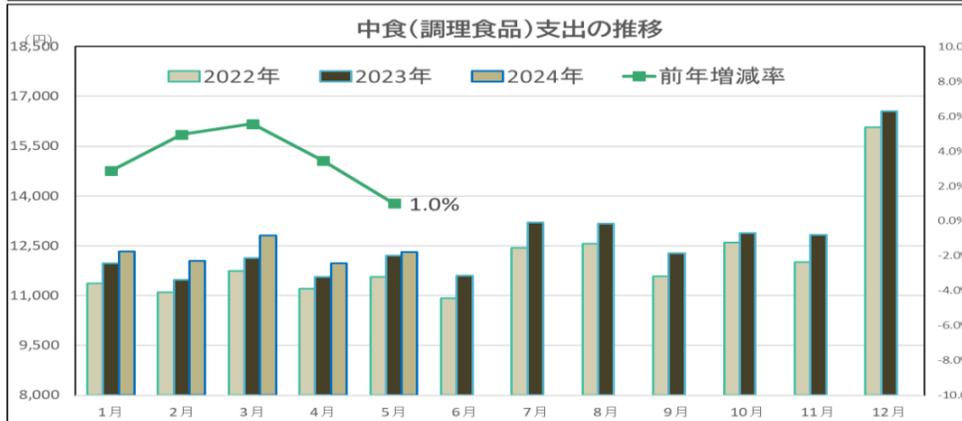
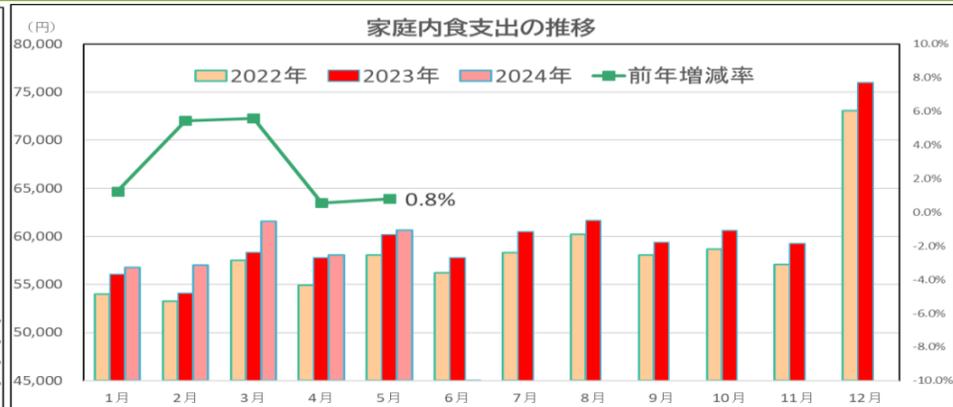
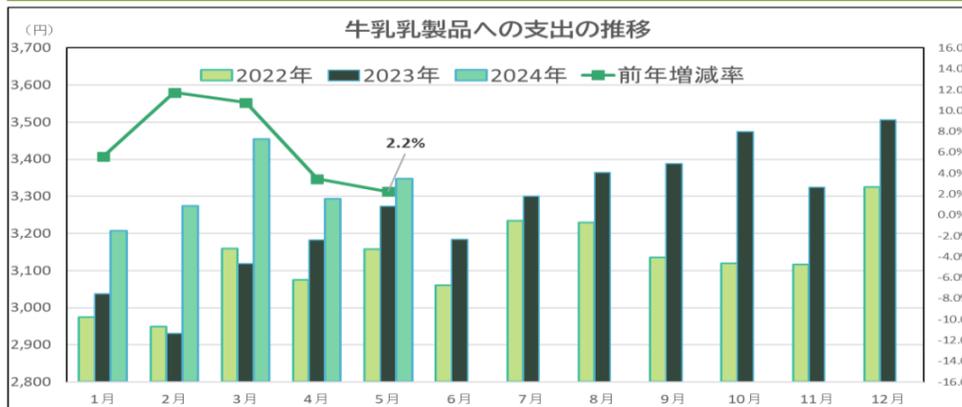
(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同100.1%、育成牛:同61.3%、F1初生(雄):同72.7%、和牛素牛(去勢):同107.2%、F1素牛(去勢):同110.4%。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

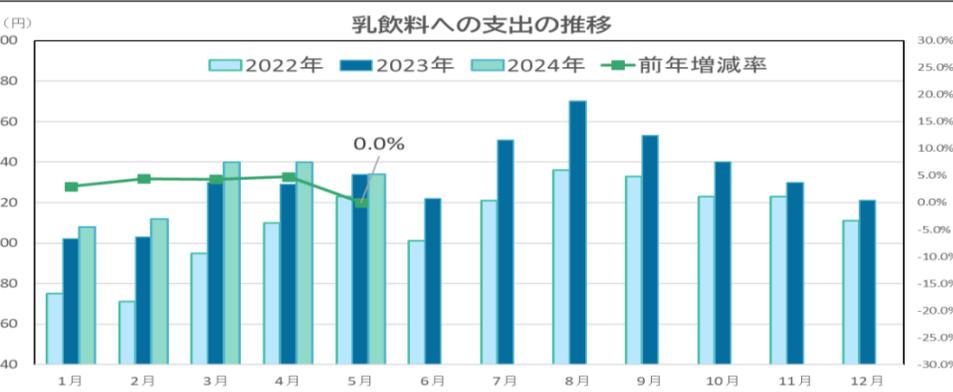
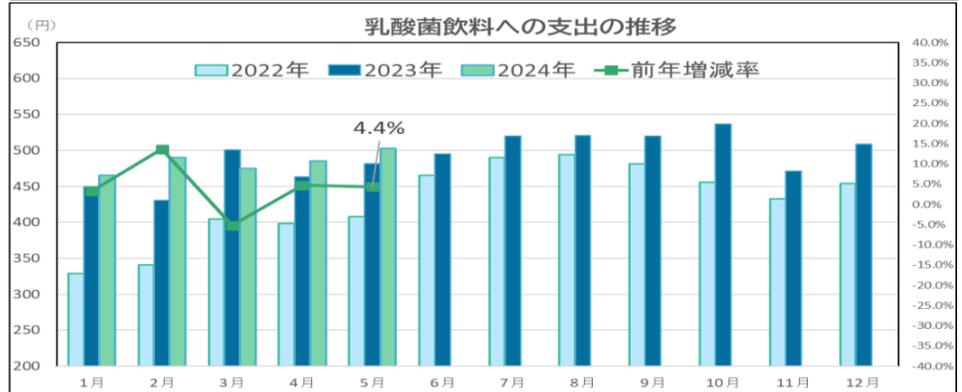
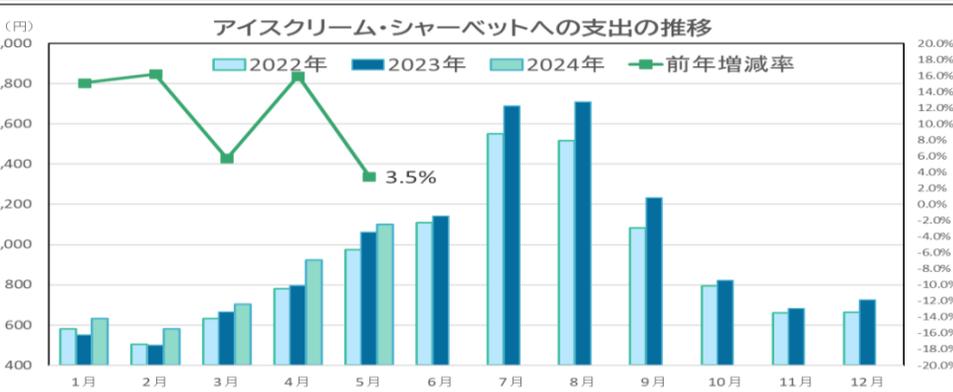
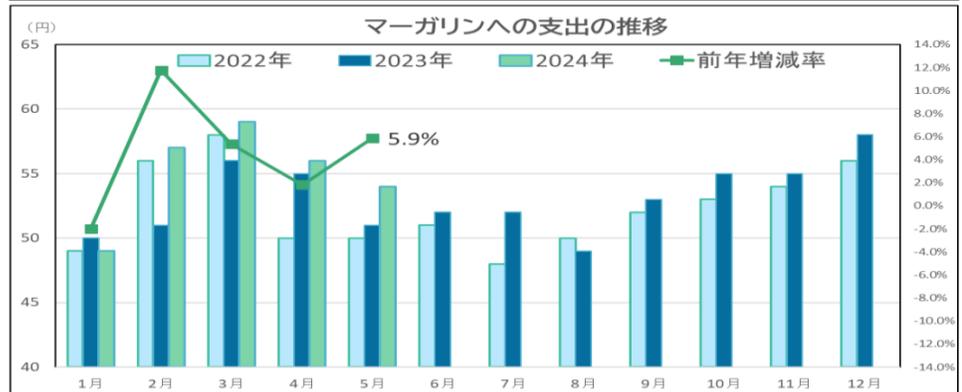
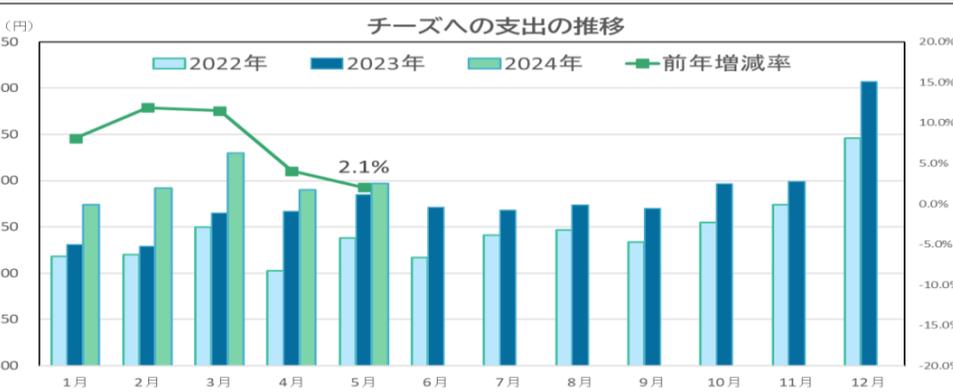
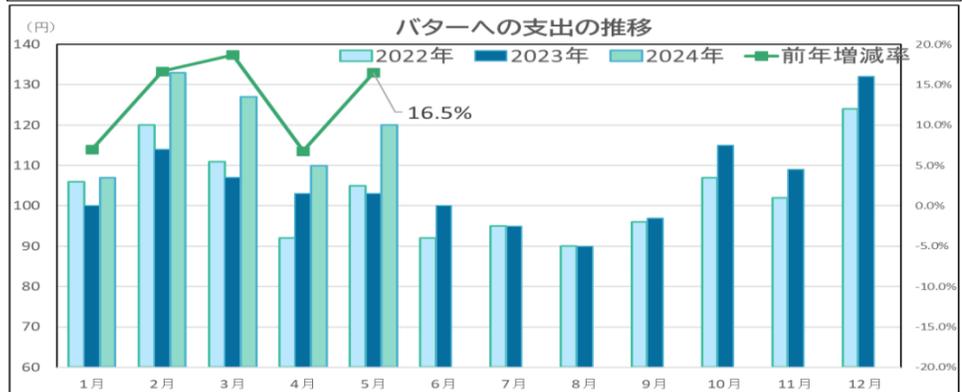
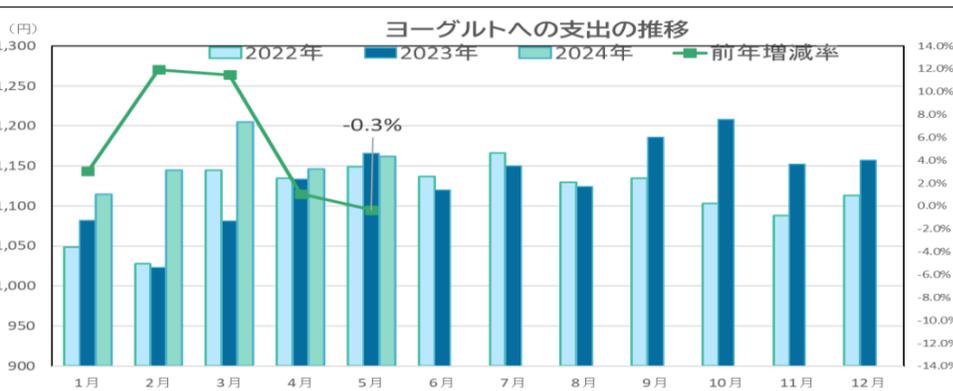
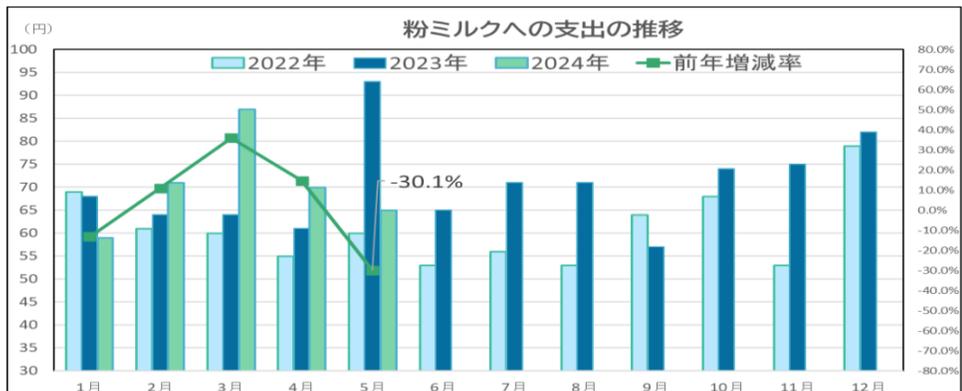


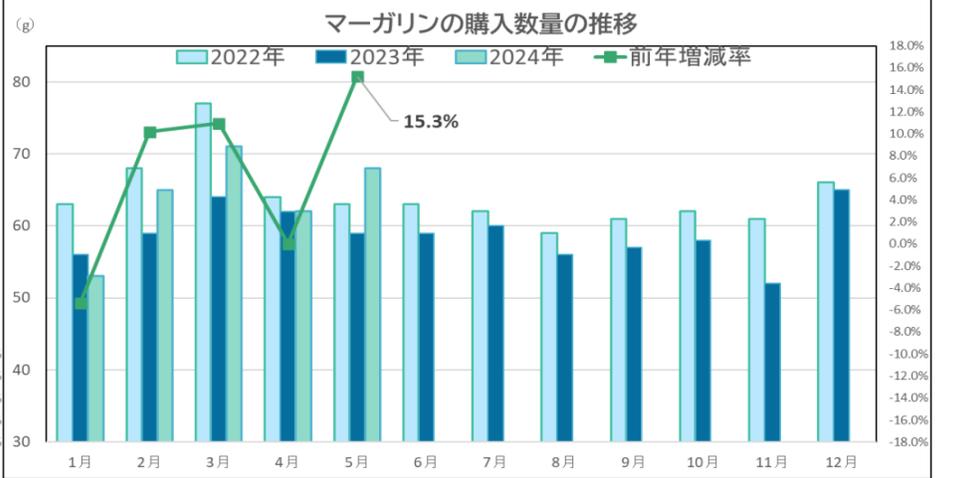
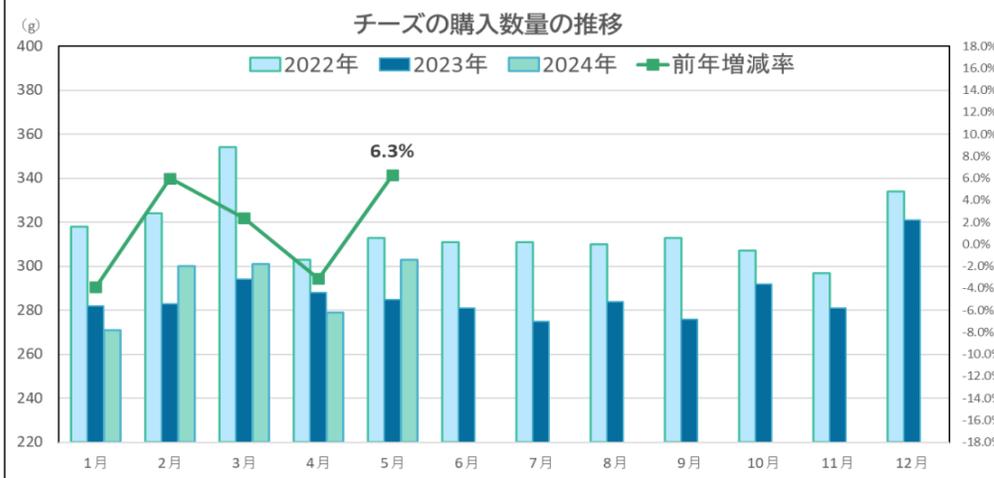
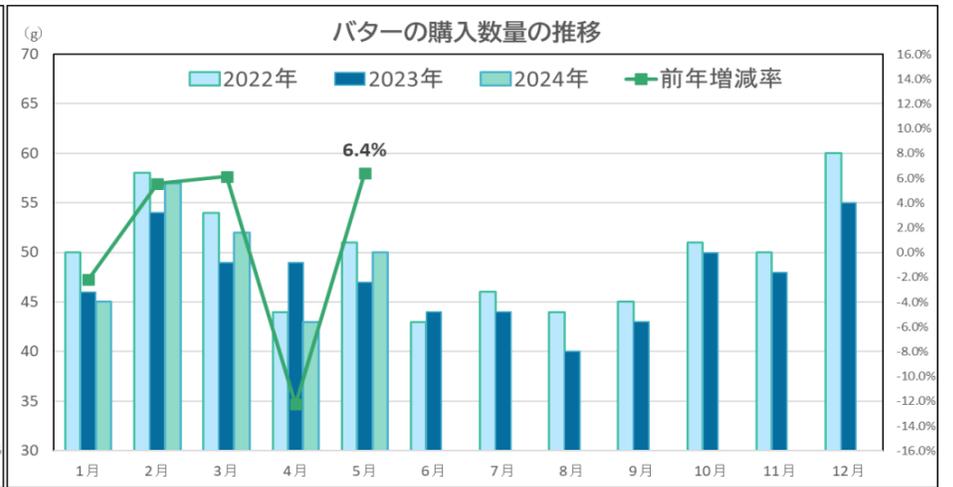
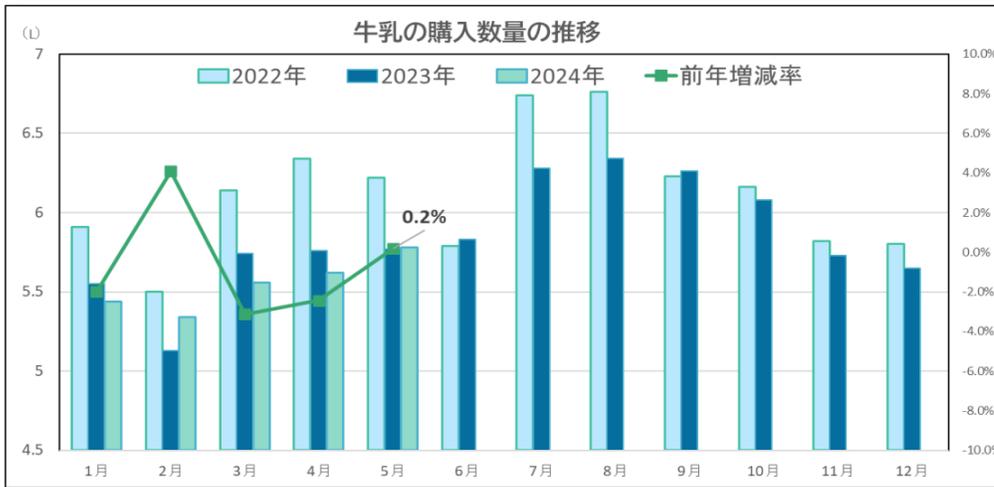
【家計支出の動向】

(1)5月の支出額前年比について、外食101.0%、中食101.0%、内食100.8%といずれも前年を上回り、食料全体への支出額は100.9%となった。
 (2)牛乳乳製品の支出額も前年比102.2%(うち牛乳105.5%、乳製品100.1%)と前年を上回った。
 (3)なお、購入量は、牛乳100.2%(1世帯当たり5.78L)と3カ月ぶりに前年超え。バターやチーズも前年を上回った一方、発酵乳は前年割れとなった。
 ※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)



【参考:その他品目支出の動向】



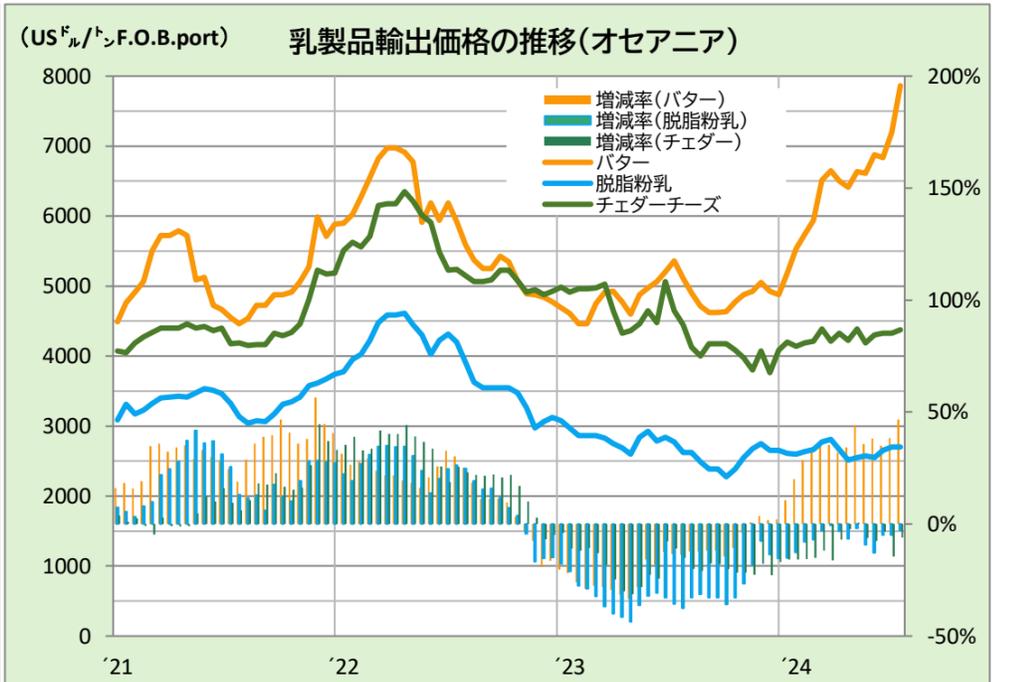
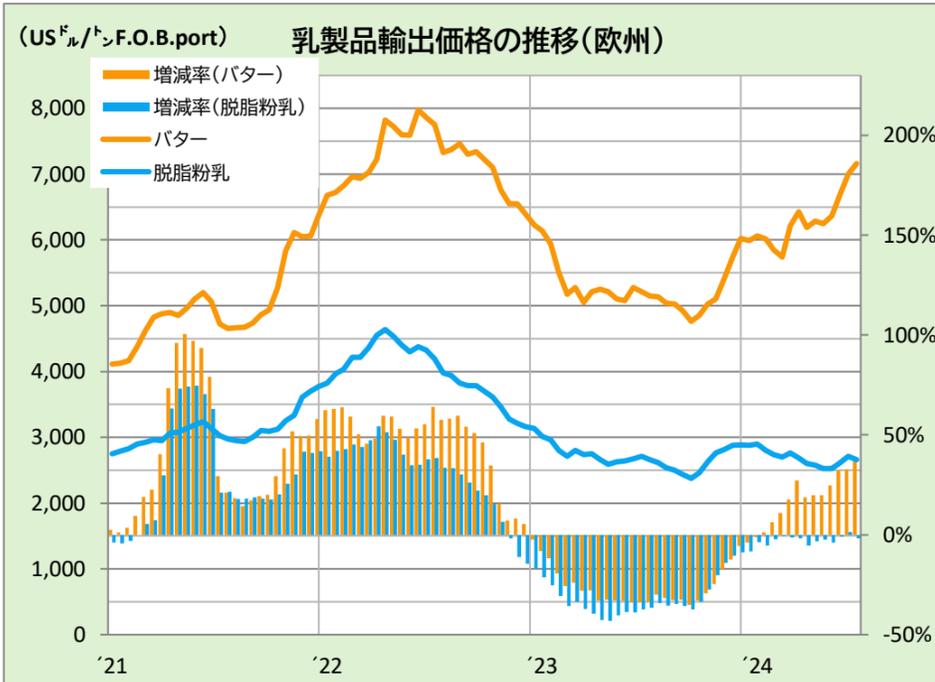


【乳製品輸出価格の動向】

(1)直近の乳製品国際相場について(6月下旬)

- ・欧州:脱脂粉乳2,663ドル/ト、バター7,163ドル/ト中心
- ・オセアニア:脱脂粉乳2,700ドル/ト、バター7,863ドル/ト、チェダーチーズは4,375ドル/ト中心

※出典:米国農務省(USDA)



※「2024年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」